

大学番号：私007

注3

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

北海道医療大学 リハビリテーション科学部
言語聴覚療法学科

注2

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東日本学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）：総務企画課

職名・氏名 カチョウ 課長 クサカ 日下 トシノリ 稔規

電話番号 0133-23-1211

F A X 0133-23-1669

e-mail soumu@hoku-iryo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出

について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

リハビリテーション科学部

<言語聴覚療法学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	39

<添付書類>FD委員会規程

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東日本学園

(2) 大学名

北海道医療大学

(3) 大学の位置

〒061-0293

北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(トウゴウ シゲオキ) 東郷 重興 (平成24年10月)		
学長	(ニイカワ ノリオ) 新川 詔夫 (平成22年4月)	(アサカ マサヒロ) 浅香 正博 (平成28年4月)	学長の交代により就任 平成28年4月1日(28)
学部長	(イズミ タダフミ) 泉 唯史 (平成25年4月)		
学科長等	(キノシタ ケンジ) 木下 憲治 (平成27年4月)	(シモムラ アツシ) 下村 敦司 (平成29年4月)	学科長の交代により就任 平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科 学士(言語聴覚療法)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	60人	3年次 10人	260人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人	-人	60人	-人	60人	-人	60人	-人	60人	-人	1.09倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(10)	(-)	(10)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
志願者数	551	-	570	-	493	-	436	-	511	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(5)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	542	-	563	-	489	-	429	-	511	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(5)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	272	-	283	-	279	-	257	-	272	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(0)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	69	-	68	-	62	-	63	-	69	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	(0)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.15		1.13		1.03		1.05					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	69 [-] (-)	0 [-] (-)	73 [-] (4)	0 [-] (-)	69 [-] (6)	0 [-] (-)	65 [-] (2)	0 [-] (-)	平成30年度4年次： 編入学生2名を含む
2年次	/		64 [-] (-)	0 [-] (-)	70 [-] (8)	0 [-] (-)	66 [-] (4)	0 [-] (-)	
3年次	/		/		59 [-] (-)	0 [-] (-)	70 [-] (10)	0 [-] (-)	
4年次	/		/		/		47 [-] (-)	0 [-] (-)	
計	69 [-] (-)		137 [-] (4)		198 [-] (14)		250 [-] (16)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	69人	0人	平成27年度	0人	0人	
平成28年度	137人	2人	平成27年度	2人	0人	・他の教育機関への入学・転学(1人) ・学力不足(1人)
			平成28年度	0人	0人	
平成29年度	198人	12人	平成27年度	6人	0人	・他の教育機関への入学・転学(2人) ・学力不足(1人) ・就職(3人) ・他の教育機関への入学・転学(3人) ・就学意欲の低下(1人) ・その他(1人)
			平成28年度	5人	0人	
			平成29年度	1人	0人	
平成30年度	250人	1人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	1人	0人	・学力不足(1人)
			平成30年度	0人	0人	
合計	654人	15人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{137} = \boxed{1.45} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{198} = \boxed{6.06} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{250} = \boxed{0.4} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論)	1前	1			3	2	1	2		12
	文章指導(日本語の表現)	1前	1			2	3	1	2		11
	人間と思想(心理学)	1後		2							1
	人間と思想(死生学入門)	1前		2							1
	人間と思想(哲学入門)	1前		2				1			
	人間と文化(文化人類学)	1前		2							1
	人間と文化(環境の歴史)	2前		2							1
	人間と文化(国際文化比較論)	2前		2							3
	人間と社会(社会学入門)	1前		2							1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							1
	人間と社会(医療の法学)	1後		2							1
	人間と社会(国際社会福祉論)	3前		2							3
	自然と科学(生命科学)	1前	2								1
	英語 I (オーラル・イングリッシュA)	1前	1								3
	英語 I (オーラル・イングリッシュB)	2前	1								2
	英語 II (英語A)	1後		1				1			
	英語 II (英語B)	2後		1				1			
	中国語(中国語)	1前		1							1
	韓国語(韓国語)	1後		1							1
	フランス語(フランス語)	2前		1							1
	ドイツ語(ドイツ語)	2前		1							1
	情報処理演習(情報処理演習)	1前	1					1			
	統計学(基礎統計学)	1後	2					1			
	健康・運動科学演習(運動科学演習)	1通	2								3
	自然科学入門(基礎数理)	1前		1							1
	自然科学入門(物理学)	1後		2							1
	自然科学入門(生物学)	1後		2							1
	自然科学入門(化学)	1後		2							1
保健医療科学(保健医療科学・多職種連携入門)	1前	2			4	2				27	
地域連携(「地域・かたをつくるI」)	2前		1							7	
地域連携(地域包括ケア演習)	3前		1							11	
医療倫理(医療倫理)	1後	2					1			1	
多職種連携(多職種連携論)	3前	1					1			11	
専門教育科目	言語聴覚障害学概論	1後	2			1					
	言語聴覚診断学総論	2前	1			1	2		2		
	言語聴覚学総論 I	2前	1			1			5	3	
	言語聴覚学総論 II	3後	1			5	5	2	5		
	言語聴覚学総論 III	4前	1			5	5	2	5		
	言語聴覚学総論 IV	4後	6			4	5	1	5	5	
	言語聴覚学総論 V	4後		2		5	5		5		
	基礎人間科学	1前	4			1					
	解剖生理学	1後	4			1					
	音声言語聴覚医学	1後	3			2					
	医学総論	2前	1.5			4					
	公衆衛生学	2前		2							1
	遺伝学	2後		1.5		1					
	病理学	2前	1								1
	内科学	2前	2								5

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論)	1前	1			1	0	1	0		0
	文章指導(日本語の表現)	1前	1			0	1	1	0		0
	人間と思想(心理学)	1後		2							1
	人間と思想(死生学入門)	1前		2							1
	人間と思想(哲学入門)	1前		2				1			
	人間と文化(文化人類学)	1前		2							1
	人間と文化(環境の歴史)	2前		2							1
	人間と文化(国際文化比較論)	2前		2							4
	人間と社会(社会学入門)	1前		2							1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							1
	人間と社会(医療の法学)	1前		2							1
	人間と社会(国際社会福祉論)	3前		2				0			3
	自然と科学(生命科学)	1前	2								1
	英語 I (オーラル・イングリッシュA)	1前	1								1
	英語 I (オーラル・イングリッシュB)	2前	1								2
	英語 II (英語A)	1後		1					1		1
	英語 II (英語B)	2後		1					0		1
	中国語(中国語)	1前		1							2
	韓国語(韓国語)	2後		1							1
	フランス語(フランス語)	2前		1							1
	ドイツ語(ドイツ語)	2前		1							1
	情報処理演習(情報処理演習)	1後	1						0		2
	統計学(基礎統計学)	1後	2						1		2
	健康・運動科学演習(運動科学演習)	1通	2								3
	自然科学入門(基礎数理)	1後		1							3
	自然科学入門(物理学)	1後		2							1
	自然科学入門(生物学)	1後		2							1
	自然科学入門(化学)	1後		2							1
保健医療科学(保健医療科学・多職種連携入門)	1前	2			0	0	1			29	
地域連携(「地域・かたをつくるI」)	2前		1					1		5	
地域連携(地域包括ケア演習)	3前		1					1		10	
医療倫理(医療倫理)	1後	2						1		0	
多職種連携(多職種連携論)	3前	1					1	1	2	16	
専門教育科目	言語聴覚障害学概論	1後	2			0		1			
	言語聴覚診断学総論	2前	1			1	1	1	2		
	言語聴覚学総論 I	2前	1			1		3	1	3	
	言語聴覚学総論 II	3後	1			7	4	5	3		
	言語聴覚学総論 III	4前	1			7	4	5	3		
	言語聴覚学総論 IV	4後	6			7	4	4	3	1	
	言語聴覚学総論 V	4後		2		6	4	2	3		
	基礎人間科学	1前	4			2		1	0		
	解剖生理学	1後	4			2					
	音声言語聴覚医学	1後	3			2					
	医学総論	2前	1.5			4					
	公衆衛生学	2前		2							1
	遺伝学	2後		1.5		1					
	病理学	2前	1			1					0
	内科学	2前	2								3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	小児科学	2前	2								1
	耳鼻咽喉科学	2後	2			1					
	形成外科学	2前	1								5
	精神医学	2後	1			1					
	神経学	2後	1.5			1					
	リハビリテーション医学	2後	1.5			1			4		4
	歯科学総論	2後	1			1					1
	口腔外科学	2後	1								1
専門教育科目	音声学	1前	2				1		1		
	言語学	1後	2.5				1				
	音響学	2前	4				1				
	言語発達学	2前	1				1		1		1
	日本語学	2前		2			1				
	神経言語学	2後		2		1	1				
	認知心理学	1前	1.5				1				
	学習心理学	1後	1.5								1
	発達心理学	1後	1.5								1
	生理心理学	2前		1.5							1
	臨床心理学	2前	1.5								1
	心理測定法	2前	1.5					1			
	リハビリテーション概論	1前	2				1				4
	関係法規	2前	1.5				1				
	社会保障制度論	3前	1								1
	社会福祉援助技術論	3前		1							1
	失語症学Ⅰ	2前	1			1	1				
	失語症学Ⅱ	2後	1.5			1					1
	高次脳機能障害学	3前	1.5			1	1				
	言語発達障害学	2後	2				1		1		
	言語発達障害学特論	3前	2				2		1		
	成人発声発語障害学	3前	4				2			1	
	小児発声発語障害学	3前	2.5				1				
	摂食嚥下障害学	3前	2				2			1	
	成人聴覚障害学	2後	2			1	1		1		
	小児聴覚障害学	3前	2			1	1		1		
	失語症学演習Ⅰ	3前	1			1			1		
	失語症学演習Ⅱ	3後	1				1		1		
	高次脳機能障害学演習	3後	1			1	1		1		
	言語発達障害学演習	3後	2				1		1		
	成人発声発語障害学演習	3後	2			1			1	1	
	小児発声発語障害学演習	3後	1			1			1	0	
	摂食嚥下障害学演習	3前	1							1	
	聴覚障害学演習	3通	3				1		1	1	
	基礎実習	3後	2			5	2		4	1	
	総合実習	4前	10			5	5	2	4	1	
	英語論文講読・研究法	3後		1.5			3				
	言語聴覚ゼミナールⅠ	3後	1			5	5	1	5		
	言語聴覚ゼミナールⅡ	4通		1		5	5	1	5		
	卒業研究	4通		1		5	5	1	5		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	小児科学	2前	2			1					0
	耳鼻咽喉科学	2後	2			1					
	形成外科学	2前	1				2				4
	精神医学	2前	1			1					
	神経学	2後	1.5			1					
	リハビリテーション医学	2後	1.5			1		3	1		3
	歯科学総論	2後	1			1					0
	口腔外科学	2後	1								1
専門教育科目	音声学	1前	2				1	1	0		
	言語学	1後	2.5				1				
	音響学	2前	4				1				
	言語発達学	2前	1				1	1	0		0
	日本語学	2前		2			1				
	神経言語学	2後		2		1	1				
	認知心理学	1前	1.5				1				
	学習心理学	1後	1.5								1
	発達心理学	1後	1.5								1
	生理心理学	2前		1.5							1
	臨床心理学	2前	1.5					1			1
	心理測定法	2前	1.5					1	0		
	リハビリテーション概論	1前	2				1				2
	関係法規	2前	1.5				1		1		
	社会保障制度論	3前	1								1
	社会福祉援助技術論	3前		1							1
	失語症学Ⅰ	2前	1			1	1				
	失語症学Ⅱ	2後	1.5				0		1		0
	高次脳機能障害学	3前	1.5				0	1			
	言語発達障害学	2後	2					1		1	
	言語発達障害学特論	3前	2					2		1	
	成人発声発語障害学	3前	4				1		1	1	
	小児発声発語障害学	3前	2.5				1				
	摂食嚥下障害学	3前	2				2			1	
	成人聴覚障害学	2後	2			0	0	1	1	1	
	小児聴覚障害学	3前	2			1	0	1	1	1	
	失語症学演習Ⅰ	3前	1				1		1	0	
	失語症学演習Ⅱ	3後	1					1		0	
	高次脳機能障害学演習	3前	1				0	1	1	0	
	言語発達障害学演習	3前	2					1		1	
	成人発声発語障害学演習	3後	2			1			1	1	
	小児発声発語障害学演習	3後	1			1			1	0	
	摂食嚥下障害学演習	3後	1				0			1	
	聴覚障害学演習	3通	3					0	1	1	
	基礎実習	3後	2			5	2		3	3	0
	総合実習	4前	10			5	5	2	3	3	0
	英語論文講読・研究法	3後		1.5			2	2			
	言語聴覚ゼミナールⅠ	3後	1			5	4	3	2		
	言語聴覚ゼミナールⅡ	4通		1		5	4	3	2		
	卒業研究	4通		1		5	4	3	2		
	臨床解剖学	2前			2		2				3

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論)	1前	1			1	0	0	2		15
	文章指導(日本語の表現)	1前	1			0	1	0	0		12
	人間と思想(心理学)	1後		2							1
	人間と思想(死生学入門)	1前		2							1
	人間と思想(哲学入門)	1前		2				1			
	人間と文化(文化人類学)	1前		2							1
	人間と文化(環境の歴史)	2前		2							1
	人間と文化(国際文化比較論)	2前		2							3
	人間と社会(社会学入門)	1前		2							1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							1
	人間と社会(医療の法学)	1後		2							1
	人間と社会(国際社会福祉論)	3前		2							3
	自然と科学(生命科学)	1前	2								1
	英語 I (オーラル・イングリッシュA)	1前	1								4
	英語 I (オーラル・イングリッシュB)	2前	1								2
	英語 II (英語A)	1後		1				1			1
	英語 II (英語B)	2後		1				0			1
	中国語(中国語)	1前		1							1
	韓国語(韓国語)	1後		1							1
	フランス語(フランス語)	2前		1							1
	ドイツ語(ドイツ語)	2前		1							1
	情報処理演習(情報処理演習)	1前	1					1			1
	統計学(基礎統計学)	1後	2					1			
	健康・運動科学演習(運動科学演習)	1通	2								3
	自然科学入門(基礎数理)(未開講)	1前		1							2
	自然科学入門(物理学)	1後		2							1
自然科学入門(生物学)	1後		2							1	
自然科学入門(化学)	1後		2							1	
保健医療科学(保健医療科学・多職種連携入門)	1前	2			4	2				26	
地域連携(デジタル・カレッジをつくるI)	2前		1							7	
地域連携(地域包括ケア演習)	3前		1							11	
医療倫理(医療倫理)	1後	2					1			1	
多職種連携(多職種連携論)	3前	1					0			19	
専門教育科目	言語聴覚障害学概論	1後	2			1					
	言語聴覚診断学総論	2前	1			1	2		2		
	言語聴覚学総論 I	2前	1			1			5	3	
	言語聴覚学総論 II	3後	1			5	5	2	5		
	言語聴覚学総論 III	4前	1			5	5	2	5		
	言語聴覚学総論 IV	4後	6			4	5	1	5	5	
	言語聴覚学総論 V	4後		2		5	5		5		
	基礎人間科学	1前	4			2			1		
	解剖生理学	1後	4			2					
	音声言語聴覚医学	1後	3			2					
	医学総論	2前	1.5			4					
	公衆衛生学	2前		2							1
	遺伝学	2後		1.5		1					
	病理学	2前	1								1
	内科学	2前	2								5

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論)	1前	1			1	0	0	1		0
	文章指導(日本語の表現)	1前	1			0	1	0	0		0
	人間と思想(心理学)	1後		2							1
	人間と思想(死生学入門)	1前		2							1
	人間と思想(哲学入門)	1前		2					1		
	人間と文化(文化人類学)	1前		2							1
	人間と文化(環境の歴史)	2前		2							1
	人間と文化(国際文化比較論)	2前		2							2
	人間と社会(社会学入門)	1前		2							1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							1
	人間と社会(医療の法学)	1後		2							1
	人間と社会(国際社会福祉論)	3前		2					1		2
	自然と科学(生命科学)	1前	2								1
	英語 I (オーラル・イングリッシュA)	1前	1								4
	英語 I (オーラル・イングリッシュB)	2前	1								2
	英語 II (英語A)	1後		1					1		1
	英語 II (英語B)	2後		1					0		1
	中国語(中国語)	1前		1							2
	韓国語(韓国語)	2後		1							2
	フランス語(フランス語)	2前		1							1
	ドイツ語(ドイツ語)	2前		1							1
	情報処理演習(情報処理演習)	1前	1						1		2
	統計学(基礎統計学)	1後	2						1		3
	健康・運動科学演習(運動科学演習)	1通	2								3
	自然科学入門(基礎数理)	1前		1							1
	自然科学入門(物理学)	1後		2							1
自然科学入門(生物学)	1後		2							1	
自然科学入門(化学)	1後		2							1	
保健医療科学(保健医療科学・多職種連携入門)	1前	2			4	2				26	
地域連携(デジタル・カレッジをつくるI)	2前		1					1		6	
地域連携(地域包括ケア演習)	3前		1							11	
医療倫理(医療倫理)	1後	2						1		1	
多職種連携(多職種連携論)	3前	1						0		11	
専門教育科目	言語聴覚障害学概論	1後	2			1					
	言語聴覚診断学総論	2前	1			1	2		2		
	言語聴覚学総論 I	2前	1			1			1	4	3
	言語聴覚学総論 II	3後	1			6	5	4	4		
	言語聴覚学総論 III	4前	1			6	5	4	4		
	言語聴覚学総論 IV	4後	6			4	5	2	4		3
	言語聴覚学総論 V	4後		2		5	5	2	4		
	基礎人間科学	1前	4			2			1		
	解剖生理学	1後	4			2					
	音声言語聴覚医学	1後	3			2					
	医学総論	2前	1.5			4					
	公衆衛生学	2前		2							1
	遺伝学	2後		1.5		1					
	病理学	2前	1						1		0
	内科学	2前	2								3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	小児科学	2前	2								1
	耳鼻咽喉科学	2後	2			1					
	形成外科学	2前	1								5
	精神医学	2後	1			1					
	神経学	2後	1.5			1					
	リハビリテーション医学	2後	1.5			1			4		3
	歯科学総論	2後	1			1					1
専門教育科目	口腔外科学	2後	1								1
	音声学	1前	2				1		1		
	言語学	1後	2.5				1				
	音響学	2前	4				1				
	言語発達学	2前	1				1		1		1
	日本語学	2前		2			1				
	神経言語学	2後		2		1	1				
	認知心理学	1前	1.5				1				
	学習心理学	1後	1.5								1
	発達心理学	1後	1.5								1
	生理心理学	2前		1.5							1
	臨床心理学	2前	1.5								1
	心理測定法	2前	1.5					1			
	リハビリテーション概論	1前	2				1				5
	関係法規	2前	1.5				1				
	社会保障制度論	3前	1								1
	社会福祉援助技術論	3前		1							1
	失語症学Ⅰ	2前	1			1	1				
	失語症学Ⅱ	2後	1.5				1				1
	高次脳機能障害学	3前	1.5				1	1			
	言語発達障害学	2後	2				1		1		
	言語発達障害学特論	3前	2				2		1		
	成人発声発語障害学	3前	4				2			1	
	小児発声発語障害学	3前	2.5				1				
	摂食嚥下障害学	3前	2				2			1	
	成人聴覚障害学	2後	2				1	1		1	
	小児聴覚障害学	3前	2				1	1		1	
	失語症学演習Ⅰ	3前	1				1			1	
	失語症学演習Ⅱ	3後	1				1			1	
	高次脳機能障害学演習	3後	1				1	1		1	
	言語発達障害学演習	3後	2				1			1	
	成人発声発語障害学演習	3後	2				1			2	
	小児発声発語障害学演習	3後	1				1			1	
	摂食嚥下障害学演習	3前	1							1	
	聴覚障害学演習	3通	3					1		1	
	基礎実習	3後	2				5	2		5	0
	総合実習	4前	10				5	5	2	5	0
	英語論文講読・研究法	3後		1.5				3			
	言語聴覚ゼミナールⅠ	3後	1				5	5	1	5	
	言語聴覚ゼミナールⅡ	4通		1			5	5	1	5	
	卒業研究	4通		1			5	5	1	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	小児科学	2前	2			1					0	
	耳鼻咽喉科学	2後	2			1						
	形成外科学	2前	1					2			3	
	精神医学	2後	1					1				
	神経学	2後	1.5					1				
	リハビリテーション医学	2後	1.5					1		4	3	
	歯科学総論	2後	1					1			0	
専門教育科目	口腔外科学	2後	1								1	
	音声学	1前	2					1		1		
	言語学	1後	2.5					1				
	音響学	2前	4					1				
	言語発達学	2前	1					1		1	0	
	日本語学	2前		2				1				
	神経言語学	2後		2			1	1				
	認知心理学	1前	1.5					1				
	学習心理学	1後	1.5								1	
	発達心理学	1後	1.5								1	
	生理心理学	2前		1.5							1	
	臨床心理学	2前	1.5						1		1	
	心理測定法	2前	1.5							1		
	リハビリテーション概論	1前	2					1			3	
	関係法規	2前	1.5						2			
	社会保障制度論	3前	1								1	
	社会福祉援助技術論	3前		1							1	
	失語症学Ⅰ	2前	1				1	1				
	失語症学Ⅱ	2後	1.5					1		1	0	
	高次脳機能障害学	3前	1.5					1	1			
	言語発達障害学	2後	2						1	1		
	言語発達障害学特論	3前	2						2		1	
	成人発声発語障害学	3前	4						1		2	
	小児発声発語障害学	3前	2.5					1				
	摂食嚥下障害学	3前	2					2			1	
	成人聴覚障害学	2後	2					1	1		1	
	小児聴覚障害学	3前	2					1	1		1	
	失語症学演習Ⅰ	3前	1					1			1	
	失語症学演習Ⅱ	3後	1						1		1	
	高次脳機能障害学演習	3後	1					1	1		1	
	言語発達障害学演習	3後	2						1		1	
	成人発声発語障害学演習	3後	2						1		2	
	小児発声発語障害学演習	3後	1					1			1	
	摂食嚥下障害学演習	3前	1						1		1	
	聴覚障害学演習	3通	3						1		1	
	基礎実習	3後	2					5	2		4	0
	総合実習	4前	10					5	5	4	4	0
	英語論文講読・研究法	3後		1.5					1	2		
	言語聴覚ゼミナールⅠ	3後	1					5	5	1	4	
	言語聴覚ゼミナールⅡ	4通		1				5	5	1	4	
	卒業研究	4通		1				5	5	1	4	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 教育科目	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論)	1前	1			1	0	1	0		0
	文章指導(日本語の表現)	1前	1			0	1	1	0		0
	人間と思想(心理学)	1後		2							1
	人間と思想(死生学入門)	1前		2							1
	人間と思想(哲学入門)	1前		2				1			
	人間と文化(文化人類学)	1前		2							1
	人間と文化(環境の歴史)	2前		2							1
	人間と文化(国際文化比較論)	2前		2							4
	人間と社会(社会学入門)	1前		2							1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							1
	人間と社会(医療の法学)	1前		2							1
	人間と社会(国際社会福祉論)	3前		2			0				3
	自然と科学(生命科学)	1前	2								1
	英語Ⅰ(オール・イングリッシュA)	1前	1								1
	英語Ⅰ(オール・イングリッシュB)	2前	1								2
	英語Ⅱ(英語A)	1後		1				1			1
	英語Ⅱ(英語B)	2後		1				0			1
	中国語(中国語)	1前		1							2
	韓国語(韓国語)	2後		1							1
	フランス語(フランス語)	2前		1							1
	ドイツ語(ドイツ語)	2前		1							1
	情報処理演習(情報処理演習)	1後	1					0			2
	統計学(基礎統計学)	1後	2					1			2
	健康・運動科学演習(運動科学演習)	1通	2								3
	自然科学入門(基礎数理)	1前		1							1
	自然科学入門(物理学)	1後		2							1
	自然科学入門(生物学)	1後		2							1
	自然科学入門(化学)	1後		2							1
	健康医療科学(健康医療科学・多職種連携入門)	1前	2			0	0	1			28
	地域連携(「地域・カネ」をつくる！)	2前		1				1			6
地域連携(地域包括ケア演習)	3前		1				1			10	
医療倫理(医療倫理)	1後	2					1			0	
多職種連携(多職種連携論)	3前	1			1	1	2			16	
専門 教育科目	言語聴覚障害学概論	1後	2			0		1			
	言語聴覚診断学総論	2前	1			1	1		2		
	言語聴覚学総論Ⅰ	2前	1			1		3	1		3
	言語聴覚学総論Ⅱ	3後	1			7	4	5	3		
	言語聴覚学総論Ⅲ	4前	1			7	4	5	3		
	言語聴覚学総論Ⅳ	4後	6			7	4	4	3		2
	言語聴覚学総論Ⅴ	4後		2		6	4	2	2		
	基礎人間科学	1前	4			2		1	0		
	解剖生理学	1後	4			2					
	音声言語聴覚医学	1後	3			2					
	医学総論	2前	1.5			4					
	公衆衛生学	2前		2							1
	遺伝学	2後		1.5		1					
	病理学	2前	1			1					0
	内科学	2前	2								3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	小児科学	2前	2			1						0
	耳鼻咽喉科学	2後	2			1						
	形成外科学	2前	1			2						4
	精神医学	2前	1			1						
	神経学	2後	1.5			1						
	リハビリテーション医学	2後	1.5			1		3	1			3
	歯科学総論	2後	1			1						0
専門教育科目	口腔外科学	2後	1									1
	音声学	1前	2				1	1	0			
	言語学	1後	2.5				1					
	音響学	2前	4				1					
	言語発達学	2前	1				1	1	0			0
	日本語学	2前		2			1					
	神経言語学	2後		2		1	1					
	認知心理学	1前	1.5				1					
	学習心理学	1後	1.5									1
	発達心理学	1後	1.5									1
	生理心理学	2前		1.5								1
	臨床心理学	2前	1.5				1					1
	心理測定法	2前	1.5				1	0				
	リハビリテーション概論	1前	2				1					2
	関係法規	2前	1.5				1		1			
	社会保障制度論	3前	1									1
	社会福祉援助技術論	3前		1								1
	失語症学Ⅰ	2前	1			1	1					
	失語症学Ⅱ	2後	1.5			0		1				0
	高次脳機能障害学	3前	1.5			0	1					
	言語発達障害学	2後	2				1		1			
	言語発達障害学特論	3前	2				2		1			
	成人発声発語障害学	3前	4			1		1	1			
	小児発声発語障害学	3前	2.5			1						
	摂食嚥下障害学	3前	2			2			1			
	成人聴覚障害学	2後	2			0	0	1	0			
	小児聴覚障害学	3前	2			1	0	1	1			
	失語症学演習Ⅰ	3前	1			1		1	0			
	失語症学演習Ⅱ	3後	1				1		0			
	高次脳機能障害学演習	3前	1			0	1	1	0			
	言語発達障害学演習	3前	2				1		1			
	成人発声発語障害学演習	3後	2			1		1	1			
	小児発声発語障害学演習	3後	1			1		1	0			
	摂食嚥下障害学演習	3後	1			0			1			
	聴覚障害学演習	3通	3				0	1	1			
	基礎実習	3後	2				5	2	3	3	0	
総合実習	4前	10				6	4	3	3	0		
英語論文講読・研究法	3後		1.5			2	2					
言語聴覚ゼミナールⅠ	3後	1				5	4	3	2			
言語聴覚ゼミナールⅡ	4通		1			6	4	3	2			
卒業研究	4通		1			6	4	3	2			
自由選択科目	臨床解剖学	2前			2	2						3

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・全学教育科目として科目内容の見直しにより担当変更したため以下を変更。
「基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授3」「准教授2」「講師1」「兼任12」から「教授1」「准教授0」「講師0」「兼任15」に変更。
「文章指導（日本語の表現）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授2」「准教授3」「講師1」「助教2」「兼任11」から「教授0」「准教授1」「講師0」「助教0」「兼任12」に変更。
- ・効果的配置を考慮し以下を変更。
「リハビリテーション医学」兼任・兼任を「兼任4」から「兼任3」に変更。
「個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門）」兼任・兼任を「兼任27」から「兼任26」に変更。
- ・助手から助教に昇格したため以下を変更。
「基礎実習」専任教員等の配置を「助教4」「助手1」から「助教5」「助手0」に変更。
「総合実習」専任教員等の配置を「助教4」「助手1」から「助教5」「助手0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより担当解除したため以下を変更。
「英語Ⅱ（英語B）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「講師1」「兼任0」から「講師0」「兼任1」に変更。
- ・教育指導体制の充実を図るため教員を追加したため以下を変更。
「英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュA）」兼任・兼任を「兼任3」から「兼任4」に変更。
「英語Ⅱ（英語A）」兼任・兼任を「兼任0」から「兼任1」に変更。
「情報処理演習（情報処理演習）」兼任・兼任を「兼任0」から「兼任1」に変更。
「自然科学入門（基礎数理）」兼任・兼任を「兼任1」から「兼任2」に変更。
「多職種連携（多職種連携論）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「講師1」「兼任11」から「講師0」「兼任19」に変更。
「基礎人間科学」専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授2」「助教1」に変更。
「解剖生理学」専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
「リハビリテーション概論」兼任・兼任を「兼任4」から「兼任5」に変更。
- ・履修希望者がいないため、「自然科学入門（基礎数理）」を未開講とした。

【平成28年度】

- ・全学教育科目の効果的配置を考慮し以下を変更。
「韓国語（韓国語）」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。
- ・効果的配置を考慮し以下を変更。
「基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論）」専任教員等の配置を「講師1」「助教2」から「講師0」「助教1」に変更。
「文章指導（日本語の表現）」兼任・兼任を「兼任12」から「兼任0」に変更。
「人間と文化（国際文化比較論）」兼任・兼任を「兼任3」から「兼任2」に変更。
「人間と社会（国際社会福祉論）」兼任・兼任を「兼任2」から「兼任2」に変更。
「自然科学入門（基礎数理）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「准教授0」「兼任2」から「准教授1」「兼任1」に変更。
「多職種連携（多職種連携論）」兼任・兼任を「兼任19」から「兼任11」に変更。
「内科学」専任教員等の配置を「兼任5」から「兼任3」に変更。
「歯科学総論」兼任・兼任を「兼任1」から「兼任0」に変更。
「言語発達学」兼任・兼任を「兼任1」から「兼任0」に変更。
「リハビリテーション概論」兼任・兼任を「兼任5」から「兼任3」に変更。
「成人発声発語障害学」専任教員等の配置を「教授2」「助教1」から「教授1」「助教2」に変更。
「基礎実習」専任教員等の配置を「助教5」から「助教4」に変更。
「言語聴覚ゼミナールⅠ」専任教員等の配置を「講師2」「助教5」から「講師1」「助教4」に変更。
「言語聴覚ゼミナールⅡ」専任教員等の配置を「講師2」「助教5」から「講師1」「助教4」に変更。
「卒業研究」専任教員等の配置を「講師2」「助教5」から「講師1」「助教4」に変更。
- ・助教から講師に昇格したため以下を変更。
「言語聴覚学総論Ⅰ」専任教員等の配置を「講師0」「助教5」から「講師1」「助教4」に変更。
- ・教育指導体制の充実を図るため教員を追加したため以下を変更。
「中国語（中国語）」兼任・兼任を「兼任1」から「兼任2」に変更。
「韓国語（韓国語）」兼任・兼任を「兼任1」から「兼任2」に変更。
「情報処理演習（情報処理演習）」兼任・兼任を「兼任1」から「兼任2」に変更。
「統計学（基礎統計学）」兼任・兼任を「兼任0」から「兼任3」に変更。
「地域連携（びじゅあ・かえをつくるⅠ）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「講師0」「兼任7」から「講師1」「兼任6」に変更。
「言語聴覚学総論Ⅱ」専任教員等の配置を「教授5」「講師2」「助教5」から「教授6」「講師4」「助教4」に変更。
「言語聴覚学総論Ⅲ」専任教員等の配置を「教授5」「講師2」「助教5」から「教授6」「講師4」「助教4」に変更。
「言語聴覚学総論Ⅳ」専任教員等の配置および兼任・兼任を「講師1」「助教5」「兼任5」から「講師2」「助教4」「兼任3」に変更。
「言語聴覚学総論Ⅴ」専任教員等の配置を「講師0」「助教5」から「講師2」「助教4」に変更。
「病理学」専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授0」「兼任1」から「教授1」「兼任0」に変更。
「小児科学」専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授0」「兼任1」から「教授1」「兼任0」に変更。
「形成外科学」専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授0」「兼任5」から「教授2」「兼任3」に変更。
「臨床心理学」専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
「関係法規」専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
「失語症学Ⅱ」専任教員等の配置および兼任・兼任を「講師0」「兼任1」から「講師1」「兼任0」に変更。
「摂食嚥下障害学演習」専任教員等の配置を「教授0」「助教2」から「教授1」「助教1」に変更。
「総合実習」専任教員等の配置を「教授5」「講師2」「助教5」から「教授6」「講師4」「助教4」に変更。
「英語論文講読・研究法」専任教員等の配置を「教授0」「准教授3」から「教授1」「准教授2」に変更。

【平成29年度】

- ・全学教育科目の効果的配置を考慮し以下を変更。
「人間と社会（医療の法学）」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
「情報処理演習（情報処理演習）」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
「精神医学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
「高次脳機能障害学演習」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
「言語発達障害学演習」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
「摂食嚥下障害学演習」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・効果的配置を考慮し以下を変更。
「人間と社会（国際社会福祉論）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「准教授1」「兼任2」から「准教授0」「兼任3」に変更。
「英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュA）」兼任・兼任を「兼任4」から「兼任1」に変更。
「韓国語（韓国語）」兼任・兼任を「兼任2」から「兼任1」に変更。
「情報処理演習（情報処理演習）」専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
「統計学（基礎統計学）」兼任・兼任を「兼任3」から「兼任2」に変更。

「個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授4」「准教授2」「講師0」「兼任26」から「教授0」「准教授0」「講師1」「兼任28」に変更。

「地域連携（地域包括ケア演習）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「講師0」「兼任11」から「講師1」「兼任10」に変更。

「医療倫理（医療倫理）」兼任・兼任を「兼任1」から「兼任0」に変更。

「言語聴覚障害学概論」専任教員等の配置を「教授1」「講師0」から「教授0」「講師1」に変更。

「言語聴覚診断学総論」専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。

「言語聴覚学総論Ⅰ」専任教員等の配置を「講師1」「助教4」から「講師3」「助教1」に変更。

「言語聴覚学総論Ⅱ」専任教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師4」「助教4」から「教授7」「准教授4」「講師5」「助教3」に変更。

「言語聴覚学総論Ⅲ」専任教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師4」「助教4」から「教授7」「准教授4」「講師5」「助教3」に変更。

「言語聴覚学総論Ⅳ」専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授4」「准教授5」「講師2」「助教4」「兼任3」から「教授7」「准教授4」「講師4」「助教3」「兼任2」に変更。

「言語聴覚学総論Ⅴ」専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」「助教4」から「教授6」「准教授4」「助教2」に変更。

「心理測定法」専任教員等の配置を「准教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。

「リハビリテーション概論」兼任・兼任を「兼任3」から「兼任2」に変更。

「関係法規」専任教員等の配置を「教授2」「講師0」から「教授1」「講師1」に変更。

「失語症Ⅱ」専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。

「高次脳機能障害学」専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。

「成人聴覚障害学」専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師0」「助教1」から「教授0」「准教授0」「講師1」「助教0」に変更。

「小児聴覚障害学」専任教員等の配置を「准教授1」「講師0」から「准教授0」「講師1」に変更。

「失語症学演習Ⅱ」専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。

「高次脳機能障害学演習」専任教員等の配置を「教授1」「講師0」「助教1」から「教授0」「准教授1」「助教0」に変更。

「摂食嚥下障害学演習」専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。

「聴覚障害学演習」専任教員等の配置を「准教授1」「講師0」から「准教授0」「講師1」に変更。

「基礎実習」専任教員等の配置を「講師0」「助教4」から「講師3」「助教3」に変更。

「総合実習」専任教員等の配置を「准教授5」「講師4」「助教4」から「准教授4」「講師3」「助教3」に変更。

「言語聴覚ゼミナールⅠ」専任教員等の配置を「准教授5」「講師1」「助教4」から「准教授4」「講師3」「助教2」に変更。

「言語聴覚ゼミナールⅡ」専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」「講師1」「助教4」から「教授6」「准教授4」「講師3」「助教2」に変更。

「卒業研究」専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」「講師1」「助教4」から「教授6」「准教授4」「講師3」「助教2」に変更。

・助教から講師に昇格したため以下を変更。

「基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論）」専任教員等の配置を「講師0」「助教1」から「講師1」「助教0」に変更。

「基礎人間科学」専任教員等の配置を「講師0」「助教1」から「講師1」「助教0」に変更。

「リハビリテーション医学」専任教員等の配置を「講師0」「助教4」から「講師3」「助教1」に変更。

「音声学」専任教員等の配置を「講師0」「助教1」から「講師1」「助教0」に変更。

「言語発達学」専任教員等の配置を「講師0」「助教1」から「講師1」「助教0」に変更。

「成人発声発語障害学」専任教員等の配置を「講師0」「助教2」から「講師1」「助教1」に変更。

「失語症学演習Ⅰ」専任教員等の配置を「講師0」「助教1」から「講師1」「助教0」に変更。

「成人発声発語障害学演習」専任教員等の配置を「講師0」「助教2」から「講師1」「助教1」に変更。

「小児発声発語障害学演習」専任教員等の配置を「講師0」「助教1」から「講師1」「助教0」に変更。

・教育指導体制の充実を図るため教員を追加したため以下を変更。

「文章指導（日本語の表現）」専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

「人間と文化（国際文化比較論）」兼任・兼任を「兼任2」から「兼任4」に変更。

「多職種連携（多職種連携論）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「教授0」「准教授0」「講師0」「兼任11」から「教授1」「准教授1」「講師2」「兼任16」に変更。

「形成外科学」兼任・兼任を「兼任3」から「兼任4」に変更。

「英語論文講読・研究法」専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。

・教育の充実を図るため自由選択科目に「臨床解剖学」を追加。

【平成30年度】

・全学教育科目の効果的配置を考慮し以下を変更。

「自然科学入門（基礎数理）」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

「心理測定法」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。

「聴覚障害学演習」の配当年次を「3通年」から「3前」に変更。

・効果的配置を考慮し以下を変更。

「地域連携（地域包括ケア演習）」兼任・兼任を「兼任11」から「兼任10」に変更。

「言語聴覚学総論Ⅳ」兼任・兼任を「兼任2」から「兼任1」に変更。

・教育指導体制の充実を図るため教員を追加したため以下を変更。

「自然科学入門（基礎数理）」兼任・兼任を「兼任2」から「兼任3」に変更。

「個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門）」専任教員等の配置および兼任・兼任を「講師2」「兼任29」から「講師1」「兼任31」に変更。

「言語聴覚診断学総論」専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

「成人聴覚障害学」専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。

「内科学」兼任・兼任を「兼任2」から「兼任3」に変更。

「言語聴覚学総論Ⅴ」専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」に変更。

・退職による担当の変更により以下を変更。

「自然と科学（生命科学）」専任教員等の配置を「教授1」「講師0」から「教授0」「講師1」に変更。

「自然科学入門（生物学）」専任教員等の配置を「教授1」「講師0」から「教授0」「講師1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
64 科目	32 科目	0 科目	96 科目	64 科目 [0]	32 科目 [0]	1 科目 [1]	97 科目 [1]	臨床解剖学を追加(29)

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{96} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	敷地仕様変更および土地購入による増加(28) 歯学部附属歯科衛生士専門学校と共有 大学全体			
	校舎敷地	70,862.63㎡ 64,222.53㎡	1,650.00㎡	㎡	72,512.63㎡ 65,872.53㎡				
	運動場用地	27,800.00㎡	0㎡	㎡	27,800.00㎡				
	小 計	98,662.63㎡ 92,022.53㎡	1,650.00㎡	㎡	100,312.63㎡ 93,672.53㎡				
	そ の 他	57,315.74㎡	0㎡	㎡	57,315.74㎡				
	合 計	155,978.37㎡ 149,338.27㎡	1,650.00㎡	㎡	157,628.37㎡ 150,988.27㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校舎改修により面積変更(28)(30)			
		74,456.14㎡ 74,510.25㎡ 72,110.27㎡ (74,456.14㎡) -(74,510.25㎡) -(72,110.27㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	74,456.14㎡ 74,510.25㎡ 72,110.27㎡ (74,456.14㎡) -(74,510.25㎡) -(72,110.27㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	49 48室	60 51室	53 51室	2室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科			13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書は電子ブックを含む。 学術雑誌は電子ジャーナルを積極 的に導入。図書等の数は 学部単位での特定不能なため、 大学全体の数(26) 図書、視聴覚資料、学術雑誌は 実績に基づく変更 (27)(28)(29)(30) 機械・器具数及び標本数は、実績 に基づく変更(27)(28)(29) (30)	
	リハビリテーション科学部 言語聴覚療法 学科	355,174 [186,160] (388,308 [223,295]) -(380,574 [216,539]) -(369,874 [206,857]) -(357,846 [194,956]) -(348,898 [185,948])	2,638 [1,217] (2,406 [1,197]) -(2,408 [1,199]) -(2,413 [1,203]) -(2,423 [1,204]) -(2,627 [1,209])	9,065 [7,389] (8,231 [6,929]) -(8,080 [6,337]) -(7,904 [6,193]) -(7,673 [6,034]) -(8,749 [7,169])	6,669 (6,604) -(6,606) -(6,673) -(6,731) -(6,565)	77,299 75,784 74,107 71,179 (77,299) (75,784) (74,107) (71,179)	2,119 2,141 2,165 2,380 (2,119) (2,141) (2,165) (2,380)		
	計	355,174 [186,160] (388,308 [223,295]) -(380,574 [216,539]) -(369,874 [206,857]) -(357,846 [194,956]) -(348,898 [185,948])	2,638 [1,217] (2,406 [1,197]) -(2,408 [1,199]) -(2,413 [1,203]) -(2,423 [1,204]) -(2,627 [1,209])	9,065 [7,389] (8,231 [6,929]) -(8,080 [6,337]) -(7,904 [6,193]) -(7,673 [6,034]) -(8,749 [7,169])	6,669 (6,604) -(6,606) -(6,673) -(6,731) -(6,565)	77,299 75,784 74,107 71,179 (77,299) (75,784) (74,107) (71,179)	2,119 2,141 2,165 2,380 (2,119) (2,141) (2,165) (2,380)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		什器等配置を一部変更し、閲覧座 席数を調整した (27)(28)(29)(30) 学術基金実態調査(文科省)算出 法に準拠し統一した (29)(30)			
	4,866.96㎡	487 487 461 445 席		256,222 275,000 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	1,746.49㎡	屋外野球場・サッカー/ラグビー場・テニスコート(27,800㎡) フィットネスセンター(411㎡)							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費、図書購入費、設備購入費については、学部単位での特定不能なため大学全体の数。 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。
		教員1人当たり研究費等	418千円	418千円	図書購入費	88,107千円	88,000千円	88,000千円	
	共同研究費等	23,000千円	23,000千円	設備購入費	568,820千円	455,662千円	455,662千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,375千円	1,375千円	1,375千円	1,375千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金・雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次	人		倍		
薬学部								
薬学科	6	160	3年次 10	1000	学士 (薬学)	1.08	昭和49年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地
歯学部								
歯学科	6	80	—	480	学士 (歯学)	0.82	昭和53年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地
看護福祉学部								
看護学科	4	100	3年次 9	418	学士 (看護学)	1.19	平成5年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地
臨床福祉学科	4	80	3年次 9	338	学士 (臨床福祉学)	0.64	平成5年度	
心理科学部								
臨床心理学科	4	75	3年次 2	304	学士 (臨床心理学)	0.91	平成14年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地
言語聴覚療法学科	4	—	—	—	学士 (言語聴覚法学)	—	平成14年度	平成27年度より学生募集停止
リハビリテーション科学部								
理学療法学科	4	80	2年次 5	335	学士 (理学療法学)	1.13	平成25年度	
作業療法学科	4	40	2年次 5	175	学士 (作業療法学)	1.19	平成25年度	北海道石狩郡当別町字金沢1758番地
言語聴覚療法学科	4	60	3年次 10	260	学士 (言語聴覚療法学)	1.09	平成27年度	
薬学研究科								
生命薬科学専攻修士課程	2	3	—	6	修士 (生命薬科学)	0.00	平成22年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地
薬学専攻博士後期課程(4年)	4	3	—	12	博士 (薬学)	0.66	平成24年度	
歯学研究科								
歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.70	昭和63年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地
看護福祉学研究科								
看護学専攻修士課程	2	15	—	30	修士 (看護学)	0.82	平成9年度	
看護学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (看護学)	0.66	平成11年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地
臨床福祉学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (臨床福祉学)	0.80	平成16年度	
臨床福祉学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床福祉学)	0.50	平成16年度	
心理科学研究科								
臨床心理学専攻修士課程	2	20	—	30	修士 (臨床心理学)	0.82	平成16年度	平成30年度入学定員増10名
臨床心理学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.66	平成16年度	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目
言語聴覚学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (言語聴覚学)	0.10	平成18年度	
言語聴覚学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (言語聴覚学)	0.00	平成18年度	
リハビリテーション科学研究科								
リハビリテーション科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション科学)	0.60	平成25年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地
リハビリテーション科学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (リハビリテーション科学)	0.66	平成27年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	准教授	田村 至 (53) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 言語聴覚診断学総論 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション概論 失語症学Ⅰ 高次脳機能障害学 失語症学演習Ⅱ 高次脳機能障害学演習 基礎実習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	准教授	橋本 竜作 (37) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ 認知心理学 言語発達障害学 言語発達障害学特論 言語発達障害学演習 総合実習 英語論文講読・研究法 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	講師	富山 彰文 (43) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 統計学(基礎統計学) 情報処理演習(情報処理演習) 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 心理測定法 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	講師	白鳥 亜矢子 (33) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A) 英語Ⅱ(英語B)
専	講師	森元 良太 (38) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 人間と思想(哲学入門) 医療倫理(医療倫理) 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 総合実習
専	助教	柳田 早織 (29) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 言語聴覚学総論Ⅰ 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション医学 音声学 言語発達学 成人発声発語障害学演習 小児発声発語障害学演習 基礎実習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	准教授	田村 至 (54) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 言語聴覚診断学総論 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション概論 失語症学Ⅰ 高次脳機能障害学 失語症学演習Ⅱ 高次脳機能障害学演習 基礎実習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	准教授	橋本 竜作 (38) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ 認知心理学 言語発達障害学 言語発達障害学特論 言語発達障害学演習 総合実習 英語論文講読・研究法 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	講師	富山 彰文 (44) 平成27年4月	統計学(基礎統計学) 情報処理演習(情報処理演習) 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 心理測定法 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	講師	白鳥 亜矢子 (34) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
専	講師	森元 良太 (39) 平成27年4月	人間と思想(哲学入門) 医療倫理(医療倫理) 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 総合実習
専	助教	柳田 早織 (30) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅰ 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション医学 音声学 言語発達学 成人発声発語障害学演習 小児発声発語障害学演習 基礎実習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	准教授	田村 至 (55) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 言語聴覚診断学総論 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション概論 失語症学Ⅰ 高次脳機能障害学 失語症学演習Ⅱ 高次脳機能障害学演習 基礎実習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	准教授	橋本 竜作 (39) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ 認知心理学 言語発達障害学 言語発達障害学特論 言語発達障害学演習 総合実習 英語論文講読・研究法 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	講師	富山 彰文 (45) 平成27年4月	統計学(基礎統計学) 情報処理演習(情報処理演習) 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 心理測定法 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	講師	白鳥 亜矢子 (35) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
専	講師	森元 良太 (40) 平成27年4月	人間と思想(哲学入門) 医療倫理(医療倫理) 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 総合実習
専	助教	柳田 早織 (31) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅰ 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション医学 音声学 言語発達学 成人発声発語障害学演習 小児発声発語障害学演習 基礎実習 総合実習 関係法規 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 地域連携(地域包括ケア演習) 成人発声発語障害学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	准教授	田村 至 (56) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 言語聴覚診断学総論 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション概論 失語症学Ⅰ 高次脳機能障害学 失語症学演習Ⅱ 高次脳機能障害学演習 基礎実習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 英語論文講読・研究 卒業研究
専	准教授	橋本 竜作 (40) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ 認知心理学 言語発達障害学 言語発達障害学特論 言語発達障害学演習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	講師	富山 彰文 (46) 平成27年4月	統計学(基礎統計学)
専	講師	白鳥 亜矢子 (36) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
専	講師	森元 良太 (41) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ 地域連携(ディカルフを つくるI) 総合実習
専	講師	柳田 早織 (32) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅰ 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション医学 音声学 言語発達学 成人発声発語障害学演習 小児発声発語障害学演習 基礎実習 総合実習 関係法規 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 地域連携(地域包括 ケア演習) 成人発声発語障害学 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	准教授	田村 至 (57) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 言語聴覚診断学総論 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション概論 失語症学Ⅰ 高次脳機能障害学 失語症学演習Ⅱ 高次脳機能障害学演習 基礎実習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 英語論文講読・研究 卒業研究
専	准教授	橋本 竜作 (41) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ 認知心理学 言語発達障害学 言語発達障害学特論 言語発達障害学演習 総合実習 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 卒業研究
専	講師	富山 彰文 (47) 平成27年4月	統計学(基礎統計学)
専	講師	白鳥 亜矢子 (37) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
専	講師	森元 良太 (42) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ 地域連携(ディカルフを つくるI) 総合実習
専	講師	柳田 早織 (33) 平成27年4月	言語聴覚学総論Ⅰ 言語聴覚学総論Ⅱ 言語聴覚学総論Ⅲ 言語聴覚学総論Ⅳ 言語聴覚学総論Ⅴ リハビリテーション医学 音声学 言語発達学 成人発声発語障害学演習 小児発声発語障害学演習 基礎実習 総合実習 関係法規 言語聴覚ゼミナールⅠ 言語聴覚ゼミナールⅡ 地域連携(地域包括 ケア演習) 成人発声発語障害学 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	泉 唯史 (58) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論
兼任	教授	国永 史朗 (63) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 自然と科学(生命科学) 自然科学入門(生物学) 地域連携(メディカル・カフェをつくる1) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	鎌田 樹寛 (54) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) リハビリテーション概論
兼任	教授	山口 明彦 (51) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 健康・運動科学演習(運動科学演習) 多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	鈴木 英樹 (47) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	高橋 尚明 (44) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	武田 涼子 (42) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	吉田 晋 (47) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	教授	小島 悟 (44) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	堀本 佳音 (39) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	本家 寿洋 (46) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) 言語聴覚学総論 I
兼任	教授	上野 武治 (70) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	泉 唯史 (59) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論
兼任	教授	国永 史朗 (64) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 自然と科学(生命科学) 自然科学入門(生物学) 地域連携(メディカル・カフェをつくる1) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	鎌田 樹寛 (55) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) リハビリテーション概論
兼任	教授	山口 明彦 (52) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 健康・運動科学演習(運動科学演習) 多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	鈴木 英樹 (48) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	高橋 尚明 (45) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	武田 涼子 (43) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	吉田 晋 (49) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	教授	小島 悟 (45) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	堀本 佳音 (40) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	本家 寿洋 (47) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) 言語聴覚学総論 I
兼任	教授	上野 武治 (71) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	泉 唯史 (60) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論
兼任	教授	国永 史朗 (65) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 自然と科学(生命科学) 自然科学入門(生物学) 地域連携(メディカル・カフェをつくる1) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	鎌田 樹寛 (56) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) リハビリテーション概論
兼任	教授	山口 明彦 (53) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 健康・運動科学演習(運動科学演習) 多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	鈴木 英樹 (49) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	高橋 尚明 (46) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	武田 涼子 (44) 平成27年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	吉田 晋 (49) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	教授	小島 悟 (46) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	堀本 佳音 (41) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	本家 寿洋 (48) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) 言語聴覚学総論 I
兼任	教授	上野 武治 (72) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	泉 唯史 (61) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論
兼任	教授	国永 史朗 (66) 平成27年4月	自然と科学(生命科学) 自然科学入門(生物学) 地域連携(メディカル・カフェをつくる1)
兼任	教授	鎌田 樹寛 (57) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	山口 明彦 (54) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	教授	鈴木 英樹 (50) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	高橋 尚明 (47) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	武田 涼子 (45) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	吉田 晋 (50) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	教授	小島 悟 (47) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	堀本 佳音 (42) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	本家 寿洋 (49) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携) 言語聴覚学総論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	泉 唯史 (62) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論
兼任	講師	西田 真也 (41) 平成28年8月	自然と科学(生命科学) 自然科学入門(生物学)
兼任	教授	鎌田 樹寛 (58) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	山口 明彦 (55) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	教授	鈴木 英樹 (51) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	高橋 尚明 (48) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	武田 涼子 (46) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	吉田 晋 (51) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	教授	小島 悟 (48) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	堀本 佳音 (43) 平成27年4月	地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	教授	本家 寿洋 (50) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携) 言語聴覚学総論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	花淵 馨也 (47) 平成27年4月	人間と文化(文化人類学) 人間と文化(国際文化比較論) 人間と社会(国際社会福祉論) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	半田 祐二期 (61) 平成27年4月	人間と文化(国際文化比較論) 人間と社会(国際社会福祉論) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	Howard Neal Tarnoff (61) 平成27年4月	人間と文化(国際文化比較論) 英語 I (オーラル・イングリッシュA)
兼任	教授	森田 煎 (59) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	教授	橋本 昇 (64) 平成27年4月	自然科学入門(物理学)
兼任	教授	黒澤 隆夫 (63) 平成27年4月	自然科学入門(化学)
兼任	教授	唯野 真司 (63) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	遠藤 泰 (55) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	齊藤 正人 (47) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	中山 英二 (55) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	超野 寿 (53) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	志水 幸 (50) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 社会保障制度論
兼任	教授	小林 正伸 (61) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 内科学
兼任	教授	堀内 ゆかり (50) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	花淵 馨也 (48) 平成27年4月	人間と文化(文化人類学) 人間と文化(国際文化比較論) 人間と社会(国際社会福祉論) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	Howard Neal Tarnoff (62) 平成27年4月	人間と文化(国際文化比較論) 英語 I (オーラル・イングリッシュA)
兼任	教授	森田 煎 (60) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	准教授	長谷川 敬司 (51) 平成27年4月	自然科学入門(物理学)
兼任	講師	鈴木 喜一 (44) 平成27年4月	自然科学入門(化学)
兼任	教授	遠藤 泰 (56) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	齊藤 正人 (48) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	超野 寿 (54) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	志水 幸 (51) 平成27年4月	社会保障制度論
兼任	教授	小林 正伸 (62) 平成27年4月	内科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	花淵 馨也 (49) 平成27年4月	人間と文化(文化人類学) 人間と文化(国際文化比較論) 人間と社会(国際社会福祉論) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	講師	佐藤 聖史 (40) 平成28年4月	人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(国際文化比較論)
兼任	教授	Howard Neal Tarnoff (63) 平成27年4月	人間と文化(国際文化比較論) 英語 I (オーラル・イングリッシュA)
兼任	教授	森田 煎 (61) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	准教授	長谷川 敬司 (52) 平成27年4月	自然科学入門(物理学)
兼任	講師	鈴木 喜一 (45) 平成27年4月	自然科学入門(化学)
兼任	教授	遠藤 泰 (57) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	齊藤 正人 (49) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	超野 寿 (55) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	志水 幸 (52) 平成27年4月	社会保障制度論
兼任	教授	小林 正伸 (63) 平成27年4月	内科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 聖史 (42) 平成28年4月	人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(国際文化比較論)
兼任	教授	Howard Neal Tarnoff (64) 平成27年4月	人間と文化(国際文化比較論)
兼任	教授	森田 煎 (62) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	准教授	長谷川 敬司 (53) 平成27年4月	自然科学入門(物理学)
兼任	講師	鈴木 喜一 (46) 平成27年4月	自然科学入門(化学)
兼任	教授	齊藤 正人 (50) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	超野 寿 (56) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	志水 幸 (53) 平成27年4月	社会保障制度論
兼任	教授	小林 正伸 (64) 平成27年4月	内科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 聖史 (42) 平成28年4月	人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(国際文化比較論)
兼任	教授	Howard Neal Tarnoff (65) 平成27年4月	人間と文化(国際文化比較論)
兼任	教授	森田 煎 (63) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	准教授	長谷川 敬司 (54) 平成27年4月	自然科学入門(物理学) 自然科学入門(基礎数理)
兼任	講師	鈴木 喜一 (47) 平成27年4月	自然科学入門(化学) 自然科学入門(基礎数理)
兼任	教授	齊藤 正人 (51) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	超野 寿 (57) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	志水 幸 (54) 平成27年4月	社会保障制度論
兼任	教授	小林 正伸 (65) 平成27年4月	内科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	坂野 雄二 (63) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	富家 直明 (44) 平成28年4月	言語聴覚学総論Ⅳ 臨床心理学
兼任	教授	志渡 晃一 (60) 平成28年4月	公衆衛生学
兼任	教授	辻 昌宏 (62) 平成28年4月	内科学
兼任	教授	伊藤 昭英 (53) 平成27年4月	内科学
兼任	教授	中野 倫仁 (56) 平成27年4月	内科学
兼任	教授	川上 智史 (57) 平成28年4月	歯科学総論
兼任	教授	永易 裕樹 (49) 平成28年4月	口腔外科学
兼任	教授	大友 芳恵 (56) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	塚越 博史 (54) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
兼任	教授	和田 啓爾 (62) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	斎藤 隆史 (50) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	平 真子 (82) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	高橋 寛男 (68) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	大原 裕介 (35) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	三國 久美 (54) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	准教授	浅野 雅子 (39) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	准教授	薄井 明 (55) 平成27年4月	人間と社会(社会学入門)
兼任	准教授	柳田 寛 (64) 平成28年4月	フランス語(フランス語)
兼任	准教授	石田 明 (49) 平成27年4月	自然科学入門(基礎数理)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	富家 直明 (45) 平成28年4月	言語聴覚学総論Ⅳ 臨床心理学
兼任	教授	志渡 晃一 (61) 平成28年4月	公衆衛生学
兼任	教授	辻 昌宏 (64) 平成28年4月	内科学
兼任	教授	中野 倫仁 (57) 平成27年4月	内科学
兼任	教授	川上 智史 (58) 平成28年4月	歯科学総論
兼任	教授	永易 裕樹 (50) 平成28年4月	口腔外科学
兼任	教授	大友 芳恵 (57) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	塚越 博史 (55) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
兼任	教授	和田 啓爾 (63) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	斎藤 隆史 (51) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	平 真子 (83) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	高橋 寛男 (69) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	大原 裕介 (36) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	三國 久美 (55) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	准教授	浅野 雅子 (41) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	准教授	薄井 明 (56) 平成27年4月	人間と社会(社会学入門)
兼任	准教授	柳田 寛 (64) 平成28年4月	フランス語(フランス語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	富家 直明 (46) 平成28年4月	言語聴覚学総論Ⅳ 臨床心理学
兼任	教授	志渡 晃一 (62) 平成28年4月	公衆衛生学
兼任	教授	辻 昌宏 (64) 平成28年4月	内科学
兼任	教授	中野 倫仁 (58) 平成27年4月	内科学
兼任	教授	川上 智史 (59) 平成28年4月	歯科学総論
兼任	教授	永易 裕樹 (51) 平成28年4月	口腔外科学
兼任	教授	大友 芳恵 (58) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	塚越 博史 (56) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
兼任	教授	和田 啓爾 (63) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	斎藤 隆史 (52) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	平 真子 (83) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	高橋 寛男 (69) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	大原 裕介 (37) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	三國 久美 (56) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	准教授	浅野 雅子 (42) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	教授	薄井 明 (57) 平成27年4月	人間と社会(社会学入門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	富家 直明 (47) 平成28年4月	言語聴覚学総論Ⅳ 臨床心理学
兼任	教授	志渡 晃一 (63) 平成28年4月	公衆衛生学
兼任	教授	辻 昌宏 (65) 平成28年4月	内科学
兼任	教授	中野 倫仁 (59) 平成27年4月	内科学
兼任	教授	川上 智史 (60) 平成28年4月	歯科学総論
兼任	教授	永易 裕樹 (52) 平成28年4月	口腔外科学
兼任	教授	大友 芳恵 (59) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	塚越 博史 (57) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
兼任	教授	和田 啓爾 (64) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	斎藤 隆史 (53) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	平 真子 (84) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	高橋 寛男 (70) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	大原 裕介 (38) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	三國 久美 (57) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	准教授	浅野 雅子 (43) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	教授	薄井 明 (58) 平成27年4月	人間と社会(社会学入門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	富家 直明 (48) 平成28年4月	言語聴覚学総論Ⅳ 臨床心理学
兼任	教授	志渡 晃一 (64) 平成28年4月	公衆衛生学
兼任	教授	中野 倫仁 (60) 平成27年4月	内科学
兼任	教授	川上 智史 (61) 平成28年4月	歯科学総論
兼任	教授	永易 裕樹 (53) 平成28年4月	口腔外科学
兼任	教授	大友 芳恵 (60) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	塚越 博史 (58) 平成27年4月	英語Ⅱ(英語A)
兼任	教授	和田 啓爾 (65) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	斎藤 隆史 (54) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	平 真子 (85) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	高橋 寛男 (71) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	大原 裕介 (39) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	三國 久美 (58) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	准教授	浅野 雅子 (44) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション医学
兼任	教授	薄井 明 (59) 平成27年4月	人間と社会(社会学入門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	准教授	千葉 薫 (59) 平成28年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	竹生 礼子 (54) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	長谷川 聡 (59) 平成28年4月 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)
兼任	准教授	漆原 宏次 (42) 平成27年4月 言語聴覚学総論IV 学習心理学
兼任	准教授	栗田 睦郎 (59) 平成28年4月 言語聴覚学総論IV 小児科学
兼任	准教授	森谷 満 (52) 平成28年4月 内科学
兼任	准教授	浜上 尚也 (50) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	荒川 俊哉 (51) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	講師	千葉 芳広 (46) 平成27年4月 基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 人間と文化(環境の歴史) 人間と社会(国際社会福祉論) 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門) 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	二瓶 裕之 (50) 平成27年4月 自然科学入門(基礎数理) 情報処理演習(情報処理演習)
兼任	准教授	竹生 礼子 (55) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	長谷川 聡 (60) 平成28年4月 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)
兼任	准教授	漆原 宏次 (43) 平成27年4月 言語聴覚学総論IV 学習心理学
兼任	准教授	栗田 睦郎 (60) 平成28年4月 言語聴覚学総論IV 小児科学
兼任	教授	森谷 満 (53) 平成28年4月 内科学
兼任	准教授	浜上 尚也 (51) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	荒川 俊哉 (52) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	鈴木 由美 (53) 平成27年4月 多職種連携(多職種連携) 基礎セミナー(コミュニケーション実践論)
兼任	准教授	近藤 里美 (53) 平成27年4月 基礎セミナー(コミュニケーション実践論)
兼任	准教授	森 伸幸 (52) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	安部 博史 (41) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	巻 康弘 (48) 平成27年4月 多職種連携(多職種連携)
兼任	講師	千葉 芳広 (47) 平成27年4月 基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 人間と文化(環境の歴史) 人間と社会(国際社会福祉論) 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	二瓶 裕之 (51) 平成27年4月 統計学(基礎統計学) 情報処理演習(情報処理演習)
兼任	講師	原田 潤平 (40) 平成28年4月 自然科学入門(基礎数理)
兼任	助教	西牧 可織 (30) 平成28年4月 情報処理演習(情報処理演習) 自然科学入門(基礎数理) 統計学(基礎統計学)
兼任	准教授	竹生 礼子 (56) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	長谷川 聡 (61) 平成28年4月 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)
兼任	准教授	漆原 宏次 (44) 平成27年4月 言語聴覚学総論IV 学習心理学
兼任	准教授	栗田 睦郎 (61) 平成28年4月 言語聴覚学総論IV 小児科学
兼任	教授	森谷 満 (54) 平成28年4月 内科学
兼任	准教授	浜上 尚也 (52) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	荒川 俊哉 (53) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	鈴木 由美 (54) 平成27年4月 多職種連携(多職種連携) 基礎セミナー(コミュニケーション実践論)
兼任	教授	近藤 里美 (54) 平成27年4月 基礎セミナー(コミュニケーション実践論)
兼任	准教授	森 伸幸 (53) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	安部 博史 (42) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	巻 康弘 (49) 平成27年4月 多職種連携(多職種連携)
兼任	准教授	千葉 芳広 (48) 平成27年4月 基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 人間と文化(環境の歴史) 人間と社会(国際社会福祉論) 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	二瓶 裕之 (52) 平成27年4月 統計学(基礎統計学) 情報処理演習(情報処理演習)
兼任	助教	西牧 可織 (31) 平成28年4月 情報処理演習(情報処理演習) 自然科学入門(基礎数理) 統計学(基礎統計学)
兼任	教授	竹生 礼子 (57) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	長谷川 聡 (62) 平成28年4月 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)
兼任	教授	漆原 宏次 (45) 平成27年4月 学習心理学
兼任	准教授	栗田 睦郎 (62) 平成28年4月 言語聴覚学総論IV
兼任	教授	森谷 満 (55) 平成28年4月 内科学
兼任	准教授	浜上 尚也 (53) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	荒川 俊哉 (54) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	森 伸幸 (54) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	安部 博史 (43) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	巻 康弘 (50) 平成27年4月 多職種連携(多職種連携)
兼任	准教授	千葉 芳広 (49) 平成27年4月 人間と文化(環境の歴史) 人間と社会(国際社会福祉論)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	二瓶 裕之 (53) 平成27年4月 統計学(基礎統計学) 情報処理演習(情報処理演習)
兼任	助教	西牧 可織 (32) 平成28年4月 情報処理演習(情報処理演習) 統計学(基礎統計学)
兼任	教授	竹生 礼子 (58) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	長谷川 聡 (63) 平成28年4月 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)
兼任	教授	漆原 宏次 (46) 平成27年4月 学習心理学
兼任	教授	森谷 満 (56) 平成28年4月 内科学
兼任	准教授	浜上 尚也 (54) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	荒川 俊哉 (55) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	森 伸幸 (55) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	教授	安部 博史 (44) 平成27年4月 個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	准教授	巻 康弘 (51) 平成27年4月 多職種連携(多職種連携)
兼任	准教授	千葉 芳広 (50) 平成27年4月 人間と文化(環境の歴史) 人間と社会(国際社会福祉論) 地域連携(メディカル・カフェをつくるI)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	宮崎 友香 (41) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	講師	百々 尚美 (45) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI) 生理心理学
兼任	講師	堀内 正隆 (48) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	講師	今井 常晶 (52) 平成27年4月	発達心理学
兼任	講師	松岡 藍史 (34) 平成27年4月	人間と思想(心理学)
兼任	講師	金澤 潤一郎 (39) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	助教	大塚 裕之 (30) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	助教	児玉 壮志 (32) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論
兼任	助教	井上 恒志郎 (28) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	助教	建部 二三 (35) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	助教	佐々木みづほ (32) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	助教	近藤 尚也 (31) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	宮崎 友香 (42) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	講師	百々 尚美 (46) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI) 生理心理学
兼任	講師	堀内 正隆 (49) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	講師	今井 常晶 (53) 平成27年4月	発達心理学
兼任	講師	松岡 藍史 (35) 平成27年4月	人間と思想(心理学)
兼任	講師	金澤 潤一郎 (40) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	助教	大塚 裕之 (31) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	助教	児玉 壮志 (33) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論
兼任	助教	井上 恒志郎 (29) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習) 文章指導(日本語の表現)
兼任	講師	建部 二三 (36) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	助教	佐々木みづほ (33) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	助教	近藤 尚也 (32) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	准教授	百々 尚美 (47) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI) 生理心理学
兼任	教授	鈴木 一郎 (49) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	講師	今井 常晶 (54) 平成27年4月	発達心理学
兼任	講師	松岡 藍史 (36) 平成27年4月	人間と思想(心理学)
兼任	講師	仲西 展裕 (39) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	講師	加藤 依子 (40) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	講師	川添 恵理子 (53) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	助教	大塚 裕之 (32) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 地域連携(地域包括ケア演習)
兼任	助教	児玉 壮志 (34) 平成27年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携) リハビリテーション概論
兼任	助教	井上 恒志郎 (30) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習) 文章指導(日本語の表現)
兼任	助教	佐々木みづほ (33) 平成27年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)
兼任	助教	近藤 尚也 (32) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	准教授	百々 尚美 (48) 平成28年4月	生理心理学 臨床心理学
兼任	教授	鈴木 一郎 (50) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	講師	今井 常晶 (55) 平成27年4月	発達心理学
兼任	講師	松岡 藍史 (37) 平成27年4月	人間と思想(心理学)
兼任	講師	仲西 展裕 (40) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	講師	川添 恵理子 (54) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	助教	井上 恒志郎 (31) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	助教	近藤 尚也 (33) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	坂倉 康則 (62) 平成29年4月	臨床解剖学
兼任	助教	高橋 昌巳 (39) 平成29年4月	臨床解剖学
兼任	助教	浜井 徹 (44) 平成29年4月	臨床解剖学
兼任	講師	太田 滋壽 (41) 平成29年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	准教授	百々 尚美 (49) 平成28年4月	生理心理学 臨床心理学
兼任	教授	鈴木 一郎 (51) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	講師	今井 常晶 (56) 平成27年4月	発達心理学
兼任	准教授	松岡 藍史 (38) 平成27年4月	人間と思想(心理学)
兼任	講師	仲西 展裕 (41) 平成28年4月	地域連携(マイカルカフェをつくるI)
兼任	講師	川添 恵理子 (55) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	助教	井上 恒志郎 (32) 平成27年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)
兼任	助教	近藤 尚也 (34) 平成27年4月	多職種連携(多職種連携)
兼任	教授	坂倉 康則 (63) 平成29年4月	臨床解剖学
兼任	助教	高橋 昌巳 (40) 平成29年4月	臨床解剖学
兼任	助教	浜井 徹 (45) 平成29年4月	臨床解剖学
兼任	講師	太田 滋壽 (42) 平成28年4月	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	舟山 恵美 (51) 平成28年4月	兼任	講師	舟山 恵美 (52) 平成28年4月	兼任	講師	舟山 恵美 (53) 平成28年4月	兼任	講師	舟山 恵美 (54) 平成28年4月
		形成外科学			形成外科学			形成外科学			形成外科学
兼任	講師	林 利彦 (50) 平成28年4月	兼任	講師	林 利彦 (51) 平成28年4月	兼任	講師	林 利彦 (52) 平成28年4月			
		形成外科学			形成外科学			形成外科学			
兼任	講師	森 祥子 (38) 平成28年4月	兼任	講師	森 祥子 (39) 平成28年4月						
		社会福祉援助技術論			社会福祉援助技術論						
						兼任	講師	澤 伊三男 (67) 平成28年4月	兼任	講師	澤 伊三男 (68) 平成28年4月
								社会福祉援助技術論			社会福祉援助技術論
兼任	講師	大槻 実佳 (52) 平成28年4月	兼任	講師	大槻 実佳 (53) 平成28年4月	兼任	講師	大槻 実佳 (54) 平成28年4月			
		失語症学Ⅱ			失語症学Ⅱ			失語症学Ⅱ			

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

・教育指導体制の充実を図るため、以下の教員を担当に追加

- 葛西聡子助教を新たに追加
- Glenn Santos講師を新たに追加
- 塚越博史教授を新たに追加
- 和田啓爾教授を新たに追加
- 斎藤隆史教授を新たに追加
- 平 典子教授を新たに追加
- 高橋憲男教授を新たに追加
- 大原裕介教授を新たに追加
- 三國久美教授を新たに追加
- 鈴木由美准教授を新たに追加
- 近藤里美准教授を新たに追加
- 森 伸幸准教授を新たに追加
- 阿部博史准教授を新たに追加
- 巻 康弘准教授を新たに追加
- 長谷佳子講師を新たに追加
- 加藤依子講師を新たに追加
- 川添恵理子講師を新たに追加
- 佐々木みづほ助教を新たに追加
- 近藤尚也助教を新たに追加

・教育の充実を図るため、以下の教員に担当科目を追加

- 木下憲治教授 (基礎人間科学、解剖生理学)
- 下村敬司教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 榊原健一准教授 (文章指導 (日本語の表現))
- 前田秀彦講師 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論)、基礎人間科学)
- 黒崎芳子講師 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 葛西聡子助教 (基礎実習、総合実習)
- 上野武治教授 (リハビリテーション概論)
- 中野倫仁教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 大友芳恵教授 (多職種連携 (多職種連携))
- 塚越博史教授 (英語Ⅱ (英語A))
- 和田啓爾教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 斎藤隆史教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 平 典子教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 高橋憲男教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 大原裕介教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 三國久美教授 (多職種連携 (多職種連携))
- 鈴木由美准教授 (多職種連携 (多職種連携)、基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 近藤里美准教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 森 伸幸准教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 阿部博史准教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 巻 康弘准教授 (多職種連携 (多職種連携))
- 佐々木祐二講師 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 長谷佳子講師 (多職種連携 (多職種連携))
- 加藤依子講師 (多職種連携 (多職種連携))
- 川添恵理子講師 (多職種連携 (多職種連携))
- 井上恒志助教 (文章指導 (日本語の表現))
- 佐々木みづほ助教 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 近藤尚也助教 (多職種連携 (多職種連携))
- Glenn Santos講師 (英語Ⅰ (オラル・イングリッシュA))
- 渡辺まどか講師 (英語Ⅱ (英語B))
- 橋本昇講師 (自然科学入門 (基礎数理))

・科目内容の見直しにより以下の教員の科目担当を解除

- 木下憲治教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 亀井尚教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 今井智子教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 西澤典子教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 中川賢嗣教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 福田真二准教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 榊原健一准教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 玉重詠子准教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 田村至准教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 橋本竜作准教授 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 畠山彰文講師 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 白鳥亜矢子講師 (英語Ⅱ (英語B))
- 森元良太講師 (文章指導 (日本語の表現))
- 柳田早織講師 (文章指導 (日本語の表現))
- 小林健史講師 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 前田秀彦講師 (文章指導 (日本語の表現))
- 飯泉智子助教 (基礎ミナル (コミュニケーション実践論))
- 鈴木英樹教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 唯野貴司教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 中山英二教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 志水幸教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 小林正伸教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 堀内ゆかり教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 坂野雄二教授 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 千葉芳広講師 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 吉田栄一講師 (個体差健康科学 (個体差健康科学))
- 中山章講師 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))

・教員の退職により以下を変更

- 半田祐二郎教授退職により後藤道講師へ変更 (人間と文化 (国際文化比較論))
- 半田祐二郎教授退職により担当者を調整中 (人間と社会 (国際社会福祉論)、個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))
- 橋本昇教授退職により長谷川教司准教授へ変更 (自然科学入門 (物理学))
- 伊藤昭英教授退職により担当者を調整中 (内科学)
- 石田朗准教授退職により二瓶裕之教授へ変更 (自然科学入門 (基礎数理))
- 千葉薫准教授退職により担当者を調整中 (個体差健康科学 (個体差健康科学・多職種連携入門))

・担当教員の見直しにより以下の担当教員を変更

- 黒澤隆夫教授から鈴木喜一講師に変更 (自然科学入門 (化学))

・昇格人事により、以下を変更

- 森谷満准教授を教授に昇格
- 宮崎充功講師を准教授に昇格

【平成28年度】

- ・教育指導体制の充実を図るため、以下の教員を担当に追加
 - 佐藤圭史講師を新たに追加
 - 原田清平講師を新たに追加
 - 西牧可織助教を新たに追加
 - 鈴木一郎教授を新たに追加
 - 仲西康裕講師を新たに追加
 - 染木布充講師を新たに追加
 - Barnabas Lee講師を新たに追加
 - 云 肖梅講師を新たに追加
 - 呉 泰均講師を新たに追加
- ・教育の充実を図るため、以下の教員を担当科目を追加
 - 柳田早織助教（関係法規、地域連携（地域包括ケア演習）、成人発声発語障害学）
 - 佐藤圭史講師（人間と社会（国際社会福祉論）、人間と文化（国際文化比較論））
 - 二瓶裕之教授（統計学（基礎統計学））
 - 原田清平講師（自然科学入門（基礎数理））
 - 西牧可織助教（情報処理演習（情報処理演習）、統計学（基礎統計学）、自然科学入門（基礎数理））
 - 鈴木一郎教授（地域連携（「FICAR」をつくるI））
 - 仲西康裕講師（地域連携（「FICAR」をつくるI））
 - 染木布充講師（フランス語（フランス語））
 - Barnabas Lee講師（英語I（オーストラリア））
 - 云 肖梅講師（中国語（中国語））
 - 呉 泰均講師（韓国語（韓国語））
 - 澤 伊三男講師（社会福祉援助技術論）
- ・科目内容の見直しにより以下の教員の科目担当を解除
 - 二瓶裕之教授（自然科学入門（基礎数理））
 - 長谷佳子講師（多職種連携（多職種連携論））
 - 森 祥子講師（社会福祉援助技術論）
- ・昇格人事により、以下を変更
 - 黒崎芳子助教を講師に昇格
 - 薄井明准教授を教授に昇格
 - 千葉芳広講師を准教授に昇格
 - 近藤里美准教授を教授に昇格
 - 櫻井潤講師を准教授に昇格
 - 吉田一講師を准教授に昇格
 - 百々尚美講師を准教授に昇格
- ・教員の退職により以下を変更
 - 宮崎友香講師退職により担当者を調整中（個体差健康科学（個体差健康科学））
 - 長谷佳子講師退職により担当者を調整中（多職種連携（多職種連携論））

【平成29年度】

- ・教育指導体制の充実を図るため、以下の教員を担当に追加
 - 坂倉康則教授を新たに追加
 - 高橋昌巳助教を新たに追加
 - 洪井徹助教を新たに追加
 - 太田滋春講師を新たに追加
 - John Stephen Knodel I 講師を新たに追加
 - 魚住純講師を新たに追加
 - 山本有平講師を新たに追加
- ・教育の充実を図るため、以下の教員を担当科目を追加
 - 木下憲治教授（臨床解剖学）
 - 太田亨教授（病理学、小児科学、言語聴覚学総論II、言語聴覚学総論III、言語聴覚学総論IV）
 - 下村敬司教授（臨床解剖学、言語聴覚学総論II、英語論文講読・研究法、言語聴覚びミナルI、言語聴覚学総論III、総合実習、言語聴覚学総論IV、言語聴覚学総論V）
 - 田村至准教授（英語論文講読・研究法）
 - 白鳥亜矢子講師（言語聴覚学総論II、言語聴覚学総論III）
 - 森元良大講師（言語聴覚学総論IV、地域連携（「FICAR」をつくるI））
 - 黒崎芳子講師（基礎びミナル（コミュニケーション実践論）、言語聴覚障害学概論、リハビリテーション医学、失語症学II、多職種連携（多職種連携論））
 - 葛西聡子助教（小児聴覚障害学、聴覚障害学演習、言語聴覚学総論II、言語聴覚学総論III、言語聴覚学総論IV）
 - 冨家直明教授（地域連携（「FICAR」をつくるI））
 - 坂倉康則教授（臨床解剖学）
 - 高橋昌巳助教（臨床解剖学）
 - 洪井徹助教（臨床解剖学）
 - 太田滋春講師（個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門））
 - John Stephen Knodel I 講師（英語I（オーストラリア））
 - 魚住純講師（自然科学入門（基礎数理））
 - 山本有平講師（形成外科学）
 - 高倉祐樹助教（基礎実習、総合実習）
- ・科目内容の見直しにより以下の教員の科目担当を解除
 - 亀井尚教授（失語症学II、言語聴覚びミナルI）
 - 今井智子教授（言語聴覚学総論IV）
 - 西澤典子教授（成人発声発語障害学、成人聴覚障害学）
 - 中川真嗣教授（高次脳機能障害学、高次脳機能障害学演習）
 - 橋本竜作准教授（英語論文講読・研究法）
 - 島村文講師（情報処理演習（情報処理演習）、言語聴覚学総論II、言語聴覚学総論III、言語聴覚学総論IV、心理測定法、総合実習、言語聴覚びミナルI、言語聴覚びミナルII 卒業研究）
 - 高橋智子助教（言語聴覚学総論I、リハビリテーション医学）
 - 黒崎芳子講師（失語症学演習II、摂食嚥下障害学演習）
 - 泉 唯史教授（文章指導（日本語の表現））
 - 国永史朗教授（基礎びミナル（コミュニケーション実践論）、地域連携（地域包括ケア演習））
 - 鎌田樹寛教授（基礎びミナル（コミュニケーション実践論）、リハビリテーション概論）
 - 山口明彦教授（基礎びミナル（コミュニケーション実践論）、多職種連携（多職種連携論））
 - 鈴木英樹教授（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 高橋尚明教授（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 武田涼子教授（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 吉田晋教授（文章指導（日本語の表現））
 - 小島悟教授（文章指導（日本語の表現））
 - 堀本佳音教授（文章指導（日本語の表現））
 - 本家寿洋教授（文章指導（日本語の表現））
 - 花淵徹也教授（人間と文化（文化人類学）、人間と文化（国際文化比較論）、人間と社会（国際社会福祉論）、個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門））
 - Howard Neal Tarnoff 教授（英語I（オーストラリア））
 - 遠藤泰教授（個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門））
 - 冨家直明教授（言語聴覚学総論IV、臨床心理学）
 - 中野倫仁教授（内科学）
 - 川上智史教授（歯科学総論）
 - 高橋憲男教授（個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門））
 - 浅野雅子准教授（文章指導（日本語の表現））
 - 原田清平講師（自然科学入門（基礎数理））
 - 漆原宏次教授（言語聴覚学総論IV）
 - 柴田睦郎准教授（小児科学）
 - 鈴木由美准教授（多職種連携（多職種連携）、基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 近藤里美教授（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 千葉芳広准教授（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 木村恵講師（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 朝日まどか講師（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 澤田篤史講師（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 澤村大輔講師（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 長谷川穂子講師（基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 浅野葉子講師（文章指導（日本語の表現））
 - 磯部太一講師（医療倫理（医療倫理））
 - 佐々木祐二講師（リハビリテーション概論、基礎びミナル（コミュニケーション実践論））
 - 百々尚美講師（地域連携（「FICAR」をつくるI）、臨床心理学）
 - 加藤依子講師（多職種連携（多職種連携論））
 - 井上恒志郎講師（文章指導（日本語の表現））
 - 佐々木みつほ助教（個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門））
 - Shaun Russell Hoggard 講師（英語I（オーストラリア）、英語I（オーストラリア））
 - Glenn Santos 講師（英語I（オーストラリア））
 - 呉 泰均講師（韓国語（韓国語））
 - 山路めぐみ講師（言語聴覚学総論IV）
 - 林 利彦講師（形成外科学）
 - 大塚美佳講師（失語症学II）
- ・昇格人事により、以下を変更
 - 柳田早織助教を講師に昇格
 - 竹止礼子准教授を教授に昇格
 - 漆原宏次准教授を教授に昇格
 - 井上恒志郎助教を講師に昇格
 - 前田秀彦助教を講師に昇格
- ・教員の退職により以下を変更
 - 玉蓮詠子准教授退職により担当者を高倉祐樹助教に変更
 - 上野武治教授退職により担当者を調整中（文章指導（日本語の表現）、多職種連携（多職種連携）、リハビリテーション概論）
 - 大塚裕之助教退職により担当者を調整中（文章指導（日本語の表現）、地域連携（地域包括ケア演習））

【平成30年度】

- ・教育指導体制の充実を図るため、以下の教員を担当に追加
 - 小西力講師を新たに追加
 - 中梶慎太郎講師を新たに追加
- ・教育の充実を図るため、以下の教員に担当科目を追加
 - 太田亨教授（言語聴覚学総論Ⅴ、総合実習）
 - 前田秀彦講師（言語聴覚学総論Ⅴ）
 - 葛西純子講師（言語聴覚学総論Ⅴ、成人聴覚障害学）
 - 西出真也講師（自然と科学（生命科学）、自然科学入門（生物学））
 - 長谷川教司准教授（自然科学入門（基礎数理））
 - 鈴木嘉一講師（自然科学入門（基礎数理））
 - 工藤俊彦教授（内科学）
 - 中野倫二教授（自然科学入門（基礎数理））
 - 小西力講師（個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門））
 - 中梶慎太郎講師（個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門））
 - Barnabas Lee講師（英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュ））
 - 坂上哲可准教授（個体差健康科学（個体差健康科学・多職種連携入門）、多職種連携（多職種連携））
- ・科目内容の見直しにより以下の教員の科目担当を解除
 - 亀井尚教授（失語症学Ⅱ、言語聴覚学Ⅲ）
 - 今井智子教授（言語聴覚学総論Ⅳ）
 - 国永史朗教授（自然と科学（生命科学）、自然科学入門（生物学）、地域連携（フィールドワークをつくるⅠ））
 - 西牧可織講師（自然科学入門（基礎数理））
 - 柴田睦郎教授（言語聴覚学総論Ⅳ）
 - John Stephen Knodel講師（英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュ））
 - 魚住純講師（自然科学入門（基礎数理））
- ・昇格人事により、以下を変更
 - 佐藤圭史講師を准教授に昇格
 - 荒川俊哉准教授を教授に昇格
 - 安部博史准教授を教授に昇格
 - 豊下祥史講師を准教授に昇格
 - 松岡純史講師を准教授に昇格
- ・教員の退職により以下を変更
 - 国永史朗教授退職により担当者を西出 真也講師に変更
 - 辻 昌宏教授退職により担当者を工藤 俊彦教授に変更
 - 澤村大輔講師退職により担当者を坂上哲可准教授に変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
7	5	3	5	20	7	4	6	4	21	7	4	6	4	21
(7)	(5)	(3)	(5)	(20)						[0]	[Δ1]	[3]	[Δ1]	[1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{20} = 105\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{21} = 4.76\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1							
2							
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	准教授	玉重 詠子	必修	聴覚健康科学 (聴覚健康科学)	①	H29.3.31付け他大学へ転職のため辞任 (29)	
			必修	言語聴覚診断学総論	①		
			必修	言語聴覚学総論Ⅱ	①		
			必修	言語聴覚学総論Ⅲ	①		
			必修	言語聴覚学総論Ⅳ	①		
			必修	言語聴覚学総論Ⅴ	①		
			必修	成人聴覚障害学	①		
			必修	小児聴覚障害学	①		
			必修	聴覚障害学演習	①		
			必修	基礎実習	①		
			必修	総合実習	①		
			必修	言語聴覚ゼミナールⅠ	①		
			選択	言語聴覚ゼミナールⅡ	①		
選択	卒業研究	①					
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	12	科目	必修	12	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	12	科目	必修	12	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{20} = \boxed{5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p><大学の所見> 教員の退職などのやむを得ない理由による交代があり、一方で教育指導体制の充実や、効果的教員配置を考慮した変更など、必要に応じた交代も行っているが、年度の開始前に決定し、計画的に実施しているため学生の履修に影響はない。</p> <p><学生への周知方法> 基本的にはシラバスにより学生へ周知している。シラバス印刷後は、別刷りを配付し、周知を徹底している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし	留意事項	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	既設学部等（歯学部歯学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成26年度入学生より学納金総額を減額し、また歯学部特待奨学生制度による入学試験を実施、入学者確保に努めた。 その結果、平成26年度より志願者数、入学者数ともに増加し、平成28年度定員充足率が0.75倍と改善した。
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	同一設置者が設置する既設学部等（看護福祉学部臨床福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成26年度入学試験より「福祉・介護人材育成奨学生」制度の導入、平成27年度より高校生とその保護者、高校教諭を対象に福祉・介護職に対するネガティブイメージの転換に資すること等を目的に「福祉・介護のしごと説明会」を実施し福祉職の魅力についてPRするなど、入学定員の確保に努めてきたが、平成30年度志願者数337名、合格者数253名、入学者45名、定員充足率0.56倍の状況となっている。 平成30年度以降の学生募集活動においては、下記事項に取組み入学者確保に努める。 1. 例年本学に招いて実施している体験学習や高校等に向向いて行う出張模擬講義は、高校生や高校教員からは好感をもって受け入れられているので、一層充実した講座を提供する。 また、本学が高大連携協定を締結している高校（札幌市立8校等）とは特に緊密な交流を続けているが、体験学習や模擬講義は、経験することによって医療や福祉に関する興味が一層高まるので、可能な限り回数を増やしていきたい。 2. 本学の教育理念である保健・医療・福祉の連携・統合を図る教育は、わが国の高齢社会において臨床福祉学にこそ求められているものであるため、その特色と魅力について特に力を注いで伝えていきたい。 3. 臨床福祉学科在学生の中から数名を選出して、出身高校に向向いて本学の教育内容と福祉の仕事について後輩に紹介する。 4. 特色リーフレットの内容をより充実させ、本学科の魅力を高校生に情報発信していく。 5. オープンキャンパス開催内容を充実させる。平成30年度は「OB/OG講話」を取り入れ福祉職の魅力度アップに繋げたい。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会【全学組織】 *リハビリテーション科学部FD委員会【学部内組織】 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会：10回開催（平成26年度実績） *FD委員会：11回開催（平成27年度実績） *FD委員会：11回開催（平成28年度実績） *FD委員会：10回開催（平成29年度実績） *リハビリテーション科学部FD委員会：13回（平成26年度実績／研究科FD委員会合同開催） *リハビリテーション科学部FD委員会：11回（平成27年度実績／研究科FD委員会合同開催） *リハビリテーション科学部FD委員会：11回（平成28年度実績／研究科FD委員会合同開催） *リハビリテーション科学部FD委員会：10回（平成29年度実績／研究科FD委員会合同開催） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修（基本編）実施要領 ③FD研修（テーマ編）実施要領 ④授業アンケート実施要領 ⑤授業公開実施要領 他 *リハビリテーション科学研究科FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修セミナー開催要領 他 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会関係：FD研修（基本編）、FD研修（テーマ編）、授業アンケート、授業公開 *リハビリテーション科学部FD委員会：FD研修 *リハビリテーション科学研究科FD委員会：FD研修 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修（基本編）：講義およびワークショップ【年1回・4月（1日）】 ・FD研修（テーマ編）：講義およびワークショップ【年1回・8月（1日）】 ・授業評価アンケート：各科目最終授業時間・OCR用紙・設問20問・5段階評価【年2回・前後期末】 ・授業公開：全学部全教員対象【通年・随時】 *リハビリテーション科学部FD委員会：FD研修セミナー【全3回】 *リハビリテーション科学研究科FD委員会：FD研修セミナー【全1回】 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p><H26年度></p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修（基本編）：平成26年4月5日（土） 10:00～17:00 【参加教員：38名】 ・FD研修（テーマ編）：平成26年8月8日（金） 9:30～17:00 【参加教員：44名】 ・FD講演会：平成26年9月30日（火） 17:15～18:30 【参加教員：127名/参加学生：4名】 平成27年1月16日（金） 16:30～18:00 【参加教員：94名】 ・学長講話：平成26年10月28日（水） 17:30～18:30 【参加教員：202名】 *リハビリテーション科学部FD委員会： <ul style="list-style-type: none"> ・第1回FDセミナー：平成26年8月5日（月） 16:00～17:30 【参加教員22名】 ・第2回FDセミナー：平成26年10月2日（木） 17:00～18:30 【参加教員18名/参加学生1名】 ・第3回FDセミナー：平成26年12月11日（木） 17:00～19:00 【参加教員15名】 <p><H27年度></p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修（基本編）：平成27年4月5日（日） 10:00～17:00 【参加教員：37名】 ・FD研修（テーマ編）：平成27年8月6日（木） 9:30～17:00 【参加教員：39名】 ・FD講演会：平成27年10月27日（火） 16:00～17:30 【参加教員：100名】 平成28年1月28日（木） 18:30～20:00 【参加教員：28名】
--

*リハビリテーション科学部FD委員会：

- ・第1回FDセミナー：平成27年8月21日（金）10:00～16:30 【参加教員23名】
- ・第2回FDセミナー：平成28年2月5日（木）15:30～17:00 【参加教員20名】

*リハビリテーション科学研究科FD委員会：

- ・第1回FDセミナー：平成27年6月15日（月）17:30～19:00 【参加教員56名/参加学生54名】
- ・第2回FDセミナー：平成27年9月25日（金）15:40～17:10 【参加教員42名】

<H28年度>

*FD委員会関係：

- ・FD研修（基本編）：平成28年4月3日（日）10:00～17:00 【参加教員：29名】
- ・FD研修（テーマ編）：平成28年8月4日（木）9:30～17:00 【参加教員：29名】
- ・FD講演会：平成28年7月25日（月）16:00～17:00 【参加教員：36名】

*リハビリテーション科学部FD委員会：

- ・第1回FDセミナー：平成28年6月21日（火）15:40～17:40 【参加教員21名】
- ・第2回FDセミナー：平成28年8月19日（金）15:40～17:00 【参加教員39名】
- ・第3回FDセミナー：平成28年8月23日（火）16:00～17:10 【参加教員25名】
- ・第4回FDセミナー：平成28年9月29日（木）17:10～18:00 【参加教員27名】
- ・第5回FDセミナー：平成28年12月14日（水）17:00～18:30 【参加教員22名】

*リハビリテーション科学研究科FD委員会：

- ・第1回FDセミナー：平成29年2月3日（金）13:30～15:00 【参加教員22名】

<H29年度>

*FD委員会関係：

- ・FD研修（基本編）：平成29年4月8日（土）10:00～17:00 【参加教員：21名】
- ・FD研修（テーマ編）：平成29年8月3日（木）9:30～17:00 【参加教員：28名】
- ・FD講演会：平成29年9月20日（水）16:00～17:30 【参加教員：100名】
- 平成29年12月8日（金）16:00～18:00 【参加教員：53名】

*リハビリテーション科学部FD委員会：

- ・第1回FDセミナー：平成29年7月1日（土）14:00～17:00 【参加教員8名】
- ・第2回FDセミナー：平成29年7月8日（土）10:00～17:00 【参加教員20名】
- ・第3回FDセミナー：平成29年7月12日（水）17:15～18:45 【参加教員22名】
- ・第4回FDセミナー：平成29年8月22日（火）16:00～17:45 【参加教員37名】
- ・第5回FDセミナー：平成29年10月11日（水）17:30～19:00 【参加教員18名】
- ・第6回FDセミナー：平成29年10月17日（火）17:00～18:45 【参加教員102名】
- ・第8回FDセミナー：平成30年1月5日（月）16:00～17:30 【参加教員22名】
- ・第9回FDセミナー：平成30年3月13日（火）14:00～17:00 【参加教員26名】

*リハビリテーション科学研究科FD委員会：

- ・第7回FDセミナー：平成29年11月25日（金）15:00～17:00 【参加教員29名】

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FDセミナーで教育手法、ICT活用方法、評価手法、学生支援手法などを座学とワークショップで学んでいる。

各教員はFDセミナーを通じて蓄積したスキルをもって、授業改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業評価アンケート：実施有 ・実施時期：年2回・前後期末（各授業科目最終講義時）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートの集計・解析結果について教員に配布しており、併せて結果についてHPIに掲載し学生・教職員が閲覧することが出来るようにしている。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

包括的なリハビリテーション医学を理解し、その中でコミュニケーション障害における多職種連携を担える人材を育成する。この目的をより明確にし、かつ確実に実現させるために、本学科をリハビリテーション科学部に設置する。この目的に基づき編成された授業科目については、すべて計画通り開講しており、また、これらの趣旨・目的は、引き続き広報誌やホームページのほかオープンキャンパス等でも広く周知を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・毎年8月末日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内教職員及び関係大学、団体等に配布。
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第3回）を受審し、平成23年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。
- ・平成29年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第4回）を受審し、平成30年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成30年 8月 1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。